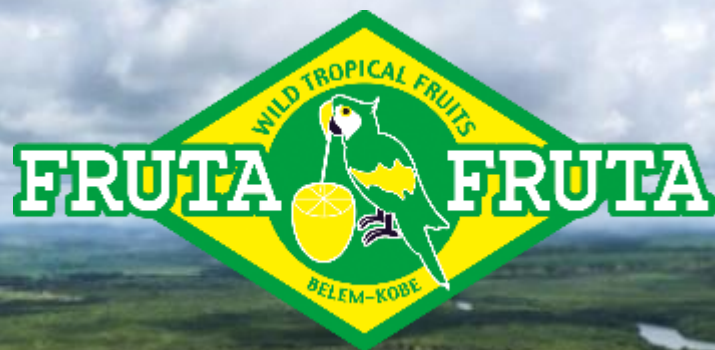


A vibrant, stylized illustration of a tropical jungle. In the foreground, two people are harvesting fruit from trees; one on the left wears a hat and a striped shirt, while the one on the right is in a blue dress. A yellow jaguar and a pink monkey are also visible. The background is filled with lush greenery, including palm trees and various birds like a red parrot, a green parrot, a blue and yellow parrot, and a toucan. The sky is light blue with white clouds.

2027年3月期 第1四半期決算補足説明資料

株式会社フルッタフルッタ（証券コード:2586）

2026年8月14日



Our Philosophy

自然と共に生きる

フルッタフルッタが目指すのは、経済と環境が共存共栄する持続可能な社会の実現です。アグロフォレストリーはそのソリューションの一つであり、私たちはその恵みであるアマゾンフルーツを革新的な商品にかえてお届けし、アグロフォレストリーの発展に貢献するとともに、お客様に本物の美と健康をご提供してまいります。

Our Purpose

自然資本主義

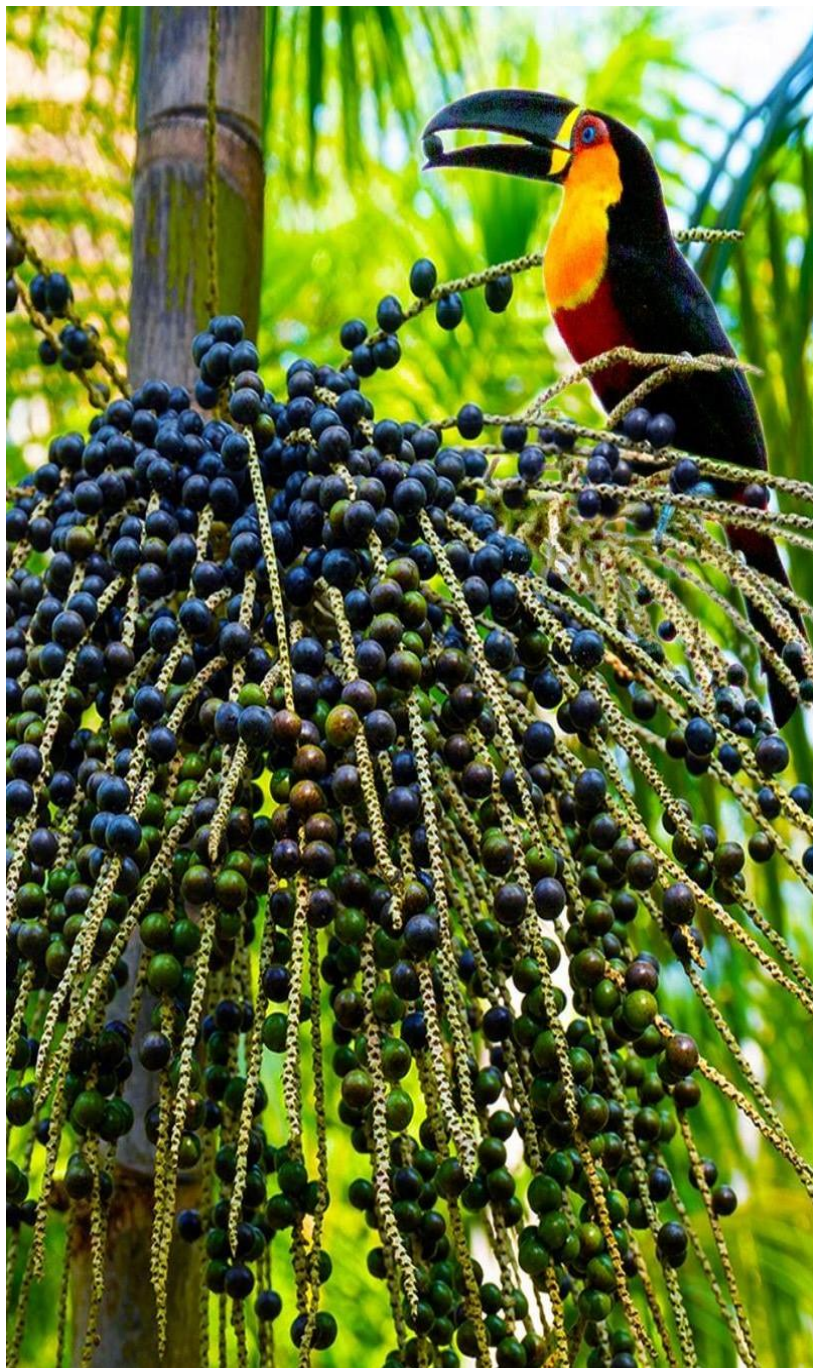
ブラジル・アマゾンに渡った日本人移民が創立したトメアス総合農業協同組合(CAMTA)と出会い、彼らが確立した栽培手法である「トメアス式アグロフォレストリー」(混農林法)に当社の長澤が共鳴したことが創業のきっかけです。

アグロフォレストリーの拡大を促し、荒廃地を緑に変えていきたい。森をつくる農業「アグロフォレストリー」の発展にビジネスの力で貢献し、経済と環境が共存共栄する持続可能な社会の実現を目指します。



アグロフォレストリーは 『生物多様性』と『CO₂削減』を両立する ソリューション

「ネイチャーポジティブ」は、企業・経済活動によって生じる自然環境への負の影響を抑え「生物の多様性を維持する」という従来の発想から大きく踏み込んで、「生物多様性を含めた自然資本を回復させる」ことを目指す新たな概念であり、近年、企業経営において重要性を増しています。



CONTENTS

P05-11

01 通期決算ハイライト

P12-18

02 主なTOPICS

P19-30

03 今後の見通し

P31-33

04 成長投資と資金調達の進捗

P34-36

05 サステナビリティの取組み



売上高は524百万円。今後の圧倒的な需要増に応えるため、戦略的な在庫確保による倉庫料(97百万円)や専門体制強化のための業務委託料(45百万円)など供給体制を盤石にするための戦略的投資(構造的準備を行う段階)を実行いたしました。

売上高

524 百万円

前年
同期比 **△544** 百万円

営業利益

△92 百万円

前年
同期比 **△254** 百万円

経常利益

△75 百万円

前年
同期比 **△229** 百万円

当期純利益

△75 百万円

前年
同期比 **△208** 百万円

－ ポイント

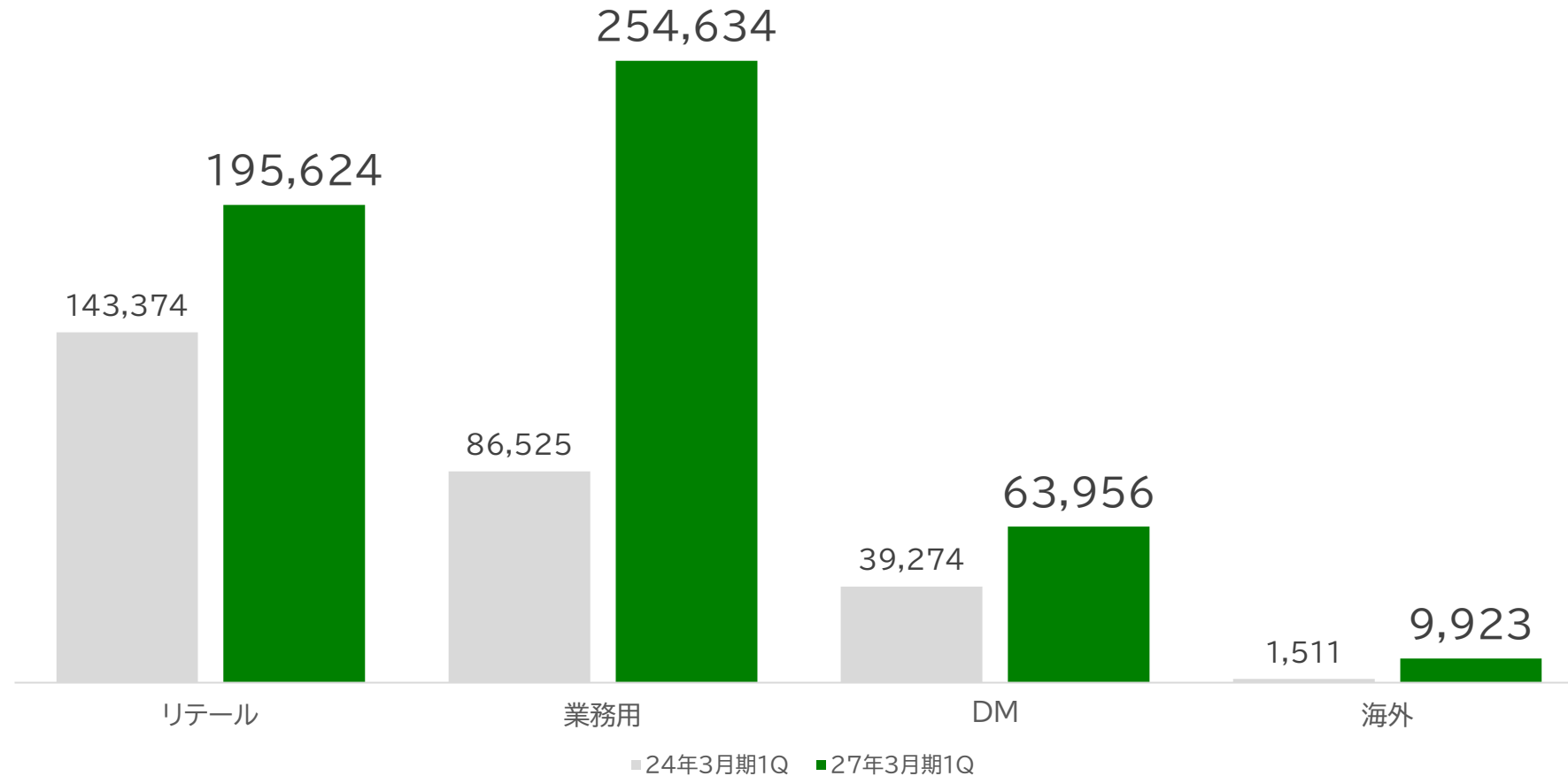
- ① 前年同期の急激なアサイーブームによる需要特需からの落ち着きと在庫調整により減収。
- ② 歴史的な円安に対して消費者の買い控えを防ぐため「戦略的な値上げ抑制」による利益率圧縮。
- ③ 中国展開等のための物流・体制強化コストが先行して発生。

売上高524百万円、営業損失92百万円となりました。今後の圧倒的な需要に応えるため、物流拠点の確保や業務体制強化への戦略的投資を実行しております。

	2026年3月期 第1Q実績		2027年3月期 第1Q実績		対前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	1,068	100.0%	524	100.0%	△544	△51.0%
売上総利益	432	40.5%	222	42.4%	△210	△48.7%
販売費及び一般管理費	271	25.4%	314	60.0%	+43	+16.1%
営業利益及び営業損失(△)	161	15.1%	△92	△17.7%	△254	—
経常利益及び経常損失(△)	154	14.4%	△75	△14.4%	△229	—
四半期純利益及び 四半期純損失(△)	132	12.4%	△75	△14.4%	△208	—

前年同期(ブーム絶頂期)比では減収も、トレンド本格化前の「2024年3月期1Q」と比較すると、各事業部門で大幅な成長を遂げており、市場は確実に底上げされています。

(単位：千円)



今後の飛躍のための構造的準備を経て、強固な市場ポジションを構築し大きくリターンを獲得してまいります。

(百万円)	2026年3月期 第1Q実績	2027年3月期 第1Q実績	対前年同期増減比 (増減額)	
売上高	1,068	524	△51.0% (△544)	
リテール	553	195	△64.7% (△358)	●
業務用	405	254	△37.2% (△150)	●
DM	109	63	△41.8% (△45)	●
海外	—	9	—% (+9)	●

- ヨーグルト売り場への面拡大を狙い、新商品「ヨーグルトにかけるだけ」をリリース。
- 新たな収益の柱として「冷凍カットフルーツ ピタヤ」をリリース。アサイーボウルのトッピング需要も狙う。

- 自社業務用通販サイト「BizWeb」の安定稼働
- 食品メーカーではパッケージへの当社ロゴの記載によりブランド認知も拡大を見込む。

- 安定した検索トラフィックを背景に無駄な広告費を抑制。
- オンライン・オフライン融合型の販売網を拡充

- COP30を経てアグロフォレストリー産力カオの需要が増大。
- 中国市場(14億人)への「BtoC越境ECビジネス」本格始動

高品質・高濃度とサステナブル調達を強みに、圧倒的な付加価値で国内市場の拡大のみならず、海外のアサイー市場の開拓展開を力強く牽引してまいります。



－ ポイント

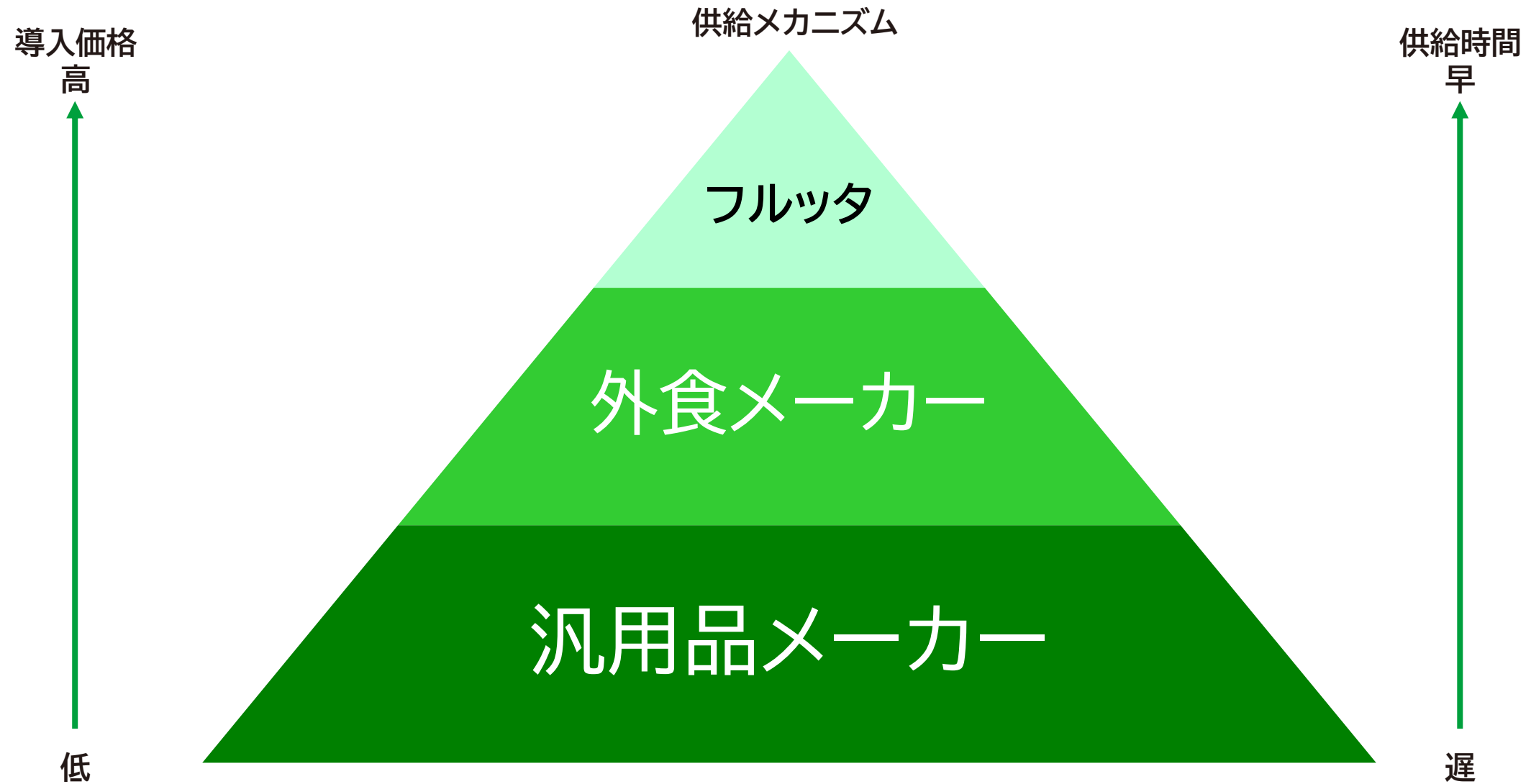
- ① 一過性のブームから「日常の食習慣」へ、ブーム前を上回る着実な市場拡大を見せています。
- ② アグロフォレストリーのストーリー性を付加価値として安定供給体制の維持とブランド価値の向上により、市場は確実に底上げされています。
- ③ 依然として業務用市場において競争が激化。品質低下、価格面でのダンピングが発生しております。

第14回新株予約権の権利行使が進行したことで「現金及び預金」、「資本金」及び「資本準備金」が増加しております。
この結果、**総資産が128百万円増加し、自己資本比率は94.2%と2.3pt増加**いたしました。

(単位:百万円)	2026年3月末	2027年6月末	増減額	主な理由
流動資産	7,575	7,697	+121	現金及び預金、アジア展開に備えた棚卸資産の増加
現金及び預金	4,716	4,968	+252	第14回新株予約権の権利行使による増加
固定資産	123	130	+7	
総資産	7,699	7,828	+128	
流動負債	618	452	△165	一時的な減益による未払法人税等の減少
固定負債	3	3	0	
純資産	7,077	7,372	+294	第14回新株予約権の権利行使による資本金及び資本準備金の増加
自己資本比率	91.9%	94.2%	+2.3pt	



国内のアサイー市場では、外食メーカーでの原料採用から汎用品メーカーの採用導入に裾野が広がっています。



「即食キャンペーン」の展開

冷凍フルーツパルプのパッケージに直接切れ込みを入れ、そのままかじりつくダイナミックで新しい食べ方を提案。冷凍果実市場に新たな消費スタイルを提示します。

「ワンハンドアサイーボウル」

忙しい現代人のライフスタイルに合わせ、片手で手軽に栄養補給ができる新感覚の持ち歩き型アサイーボウルを展開し、タイパ(タイムパフォーマンス)需要に応えます。

クリーンラベルの徹底

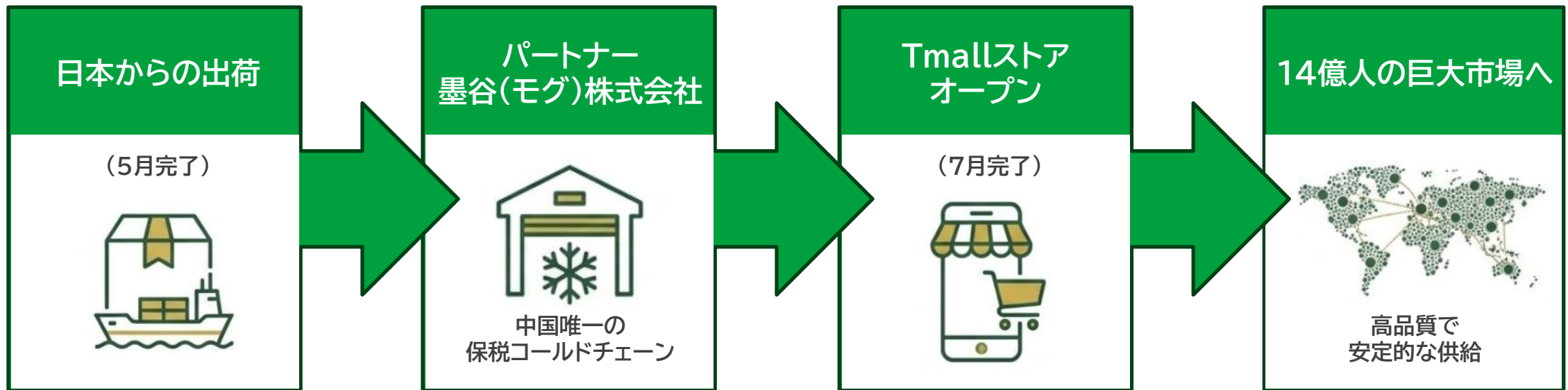
人工添加物を使用せず、原材料の透明性と安全性を追求した「クリーンラベル」を推進し、消費者の高い健康・安心ニーズを満たすスーパーフードとして市場を牽引します。



越境ECビジネスの本格始動

戦略的パートナーである墨谷(モグ)株式会社との提携により、中国最大のプレミアムECプラットフォーム「Tmall」に公式ストアをオープンいたしました。

Tmallは中国の富裕層・健康志向層が集まる信頼性の高いプラットフォームであり、「日本発の高品質スーパーフード」というブランドイメージとの親和性が極めて高い場所です。日中関係の緊張に伴う一時的な輸入停止措置等のカントリーリスクにより1Qの海外事業売上は伸び悩みましたが、現在はインフラが整備され、次なる成長エンジンが本格稼働する段階に入りました。



※2026年7月29日公表の「中国市場向け越境ECビジネスの本格始動および墨谷(モグ)株式会社との業務提携に関するお知らせ」をご参照ください。

約6年ぶりの商品提供型 特別株主優待実施とファン化

- 特別株主優待の実施:業績の回復と筋肉質な経営体制の構築に伴い、約6年ぶりの自社商品贈呈による特別株主優待を実施いたします。
- 4万人株主のファン化:約4万人の株主様への日頃の感謝を具体的な商品提供という形で還元し、「フルッタフルッタ」ブランドの熱狂的なファン(エヴァンジェリスト)になっていただくことを目指します。
- EC事業とのシナジー:この優待再開を強力なフックとして活用し、株主優待特設サイトを自社EC事業の新たな収益の柱として育成してまいります。



2期連続の黒字化を機に株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社商品へのご理解をより一層深めていただくことを目的として、**自社商品を特別株主優待として贈呈**いたします。

日頃の応援に感謝を込めて

株主優待特典

2,000円相当の商品を、
対象の株主様全員*へ
進呈いたします。

*2026年6月1日～2026年11月30日の株主優待特典対象のお客様全員が対象



株主優待優待サイトにご登録後、
サイト内でお手続きいただけます。
商品は順次発送いたします。



- (1)9月30日までの会員登録と受取手続き完了が条件 (2)商品送料のご負担も発生いたしません。
(3)特別株主優待についての詳細は2026年6月24日付「特別株主優待実施に関するお知らせ」をご参照ください。

株主還元方針のロードマップ



過去数年間～現状

財務基盤強化期間として優待を休止し、抜本的な体質改善と筋肉質な経営基盤の構築に注力。

今期

約6年ぶりの商品提供型特別優待再開。株主還元を進めるとともに、4万人株主のファン化とECサイトの活性化を推進。



来期以降

安定的な利益創出フェーズへの移行に伴い、優待から「配当」による直接的かつ柔軟な利益還元へと切り替え。

中長期

グローバル展開による飛躍的な収益拡大を原資とした、安定的かつ継続的な株主価値(配当性向)の向上。







着実な成長に向けた準備期間として黒字を堅守し、今後ダウンサイドに至るケースでも将来アップサイドを得られる、安定した収益につながるポートフォリオを構築してまいります。
2027年3月期の最終利益額は横ばいとなる見通しですが、中期的な成長戦略を実行して獲得利益の拡大を実現してまいります。

	2026年3月期 通期実績		2027年3月期 業績予想		増減率
	金額	売上比	金額	売上比	増減率
売上高	3,142	100.0%	3,400	100.0%	8.2%
営業利益	94	3.0%	170	5.0%	80.0%
経常利益	126	4.0%	150	4.4%	19.0%
当期純利益	83	2.7%	100	2.9%	20.3%

※業績予想の当期純利益には、法人税・住民税及び事業税までを含み、現時点での将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性が見込まれる部分について検討していた段階であることから法人税等調整額は含みません。

今期:アジア市場への攻勢

経済成長と健康意識の高まりが著しい中国、台湾、シンガポール市場から優先的に市場開拓を開始します。

特に中国向けに関しては、ライブコマース等の緻密な戦略準備が完了しており、間もなくアサイーの出荷が本格的に開始される予定です。アジア圏での早期のブランド確立と収益化を目指します。

中長期:全大陸への展開

アジア市場での成功モデルと強固なサプライチェーン網を基盤として、段階的な市場拡張を図ります。

中長期的には、ヨーロッパ、北米、中東の巨大市場への開発を順次開始いたします。世界の健康志向の高まりを確実に捉え、日本発のアマゾンフルーツブランドとして圧倒的な地位を確立します。

「健康中国2030」を背景に高まる健康意識を捉え、越境ECを通じて現地市場に適した展開を実行。
BtoCでの認知確立を起点に、**オンライン・オフライン・BtoBの3チャネル並行稼働**で市場開拓を加速させます。



ライブコマースへの参入



SNS活用のメリットを最大化

SNSと連携したライブ配信を通じ、アサイーの魅力やアレンジレシピをリアルタイムで発信。スマートフォンから直接購買へ繋げる、**シームレスな顧客体験を創出**します。



双方向のブランドエンゲージメント

エンターテインメントとショッピングを融合させることで、Z世代を中心とした新たなターゲット層との**強固な信頼関係(トラスト)**を構築し、**衝動買い**を喚起します。



アジア市場への本格参入



中国BtoB総代理店契約準備中 台湾総代理店としてKFS社とMOU締結完了

巨大な消費市場を持つアジア圏へのアプローチを強化し、現地における**強固なBtoBネットワーク(代理店網)**を構築します。

「健康中国2030」などで高まる健康意識を追い風に、日本の枠を超えてフルッタフルッタブランドのグローバル展開を加速させ、次なる収益の柱へと育成してまいります。

※KFS社とのMOU契約に関する詳細は2026年4月27日開示の、「台湾およびタイ市場におけるライセンス製造および販売代理に関する 基本合意書(MOU)締結のお知らせ」をご参照ください。

日本でアサイー市場を切り開いてきた、**市場創出企業としてのノウハウをもとに**、グローバル下での市場創出を展開してまいります。



「市場創出企業」としての展開

日本で培った市場創出のノウハウを導入し、巨大なグローバル市場へ新たなアサイーの健康食文化を根付かせます。

本格マーケティングの開始

現地有力代理店と強固に協業し、現地の市場特性やトレンドに合わせた本格的なマーケティング活動を始動します。

BtoC / BtoB 販売の開始

自社ブランド商品の直接展開に加え、急成長するカフェチェーンや外食市場向けに原料卸の販売を開始します。

在庫拠点の確立

爆発的な需要増加に迅速かつ柔軟に応えるため、中国国内に独自の在庫拠点の構築・確立を検討しています。

自社販売拠点の考案

代理店を通じた展開に留まらず、自社独自の販売拠点を現在考案中であり、将来的な現地法人の設立も視野に検討を進めています。

ブラジル最大のアマゾンフルーツサプライヤー、CAMTA(トメアス総合農業協同組合)とアジアにおける独占輸入契約を締結。高品質なアサイーの安定供給と厳格な品質管理体制が維持され、競合他社が容易に追従できない優位性を確立。



ブラジル最大の農業組合

アマゾンにおいて栽培から製造まで一貫生産できる唯一のメーカーです。

世界ではじめてアサイーの量産に成功

それまでアマゾンの産地でしか食べられなかったアサイーの遠方への輸送を可能にした世界一の技術力があります。



※CAMTAの詳細については当社公式HPパートナーCAMTAとその町をご参照ください。
<https://www.frutafruta.com/fruit/camta/>

生産と販売の完全分業化

CAMTAとの協力的な協業進化

今後5年間でアグロフォレストリー生産量を4倍に拡大する予測を念頭に、ブラジル現地のパートナーであるCAMTAと戦略的な合意を確認しました。

従来は農協側が対応していた日本以外の海外市場についても、本合意により「生産と販売の完全分業化」を実現。フルッタフルッタが海外展開の全権を一任され、よりスピーディで戦略的なグローバル市場開拓を推し進めます。



※正式な契約締結となった場合には、速やかに開示いたします。

15,000t

CAMTAのアサイー供給目標(5年間)

売上100億円相当の事業基盤へ

グローバル市場での爆発的な需要増加に応え、
海外販売の全権を獲得することに伴い、
CAMTAの5年間で15,000トンの供給を計画します。

生産現場との連携による安定供給網の構築により、
圧倒的なスケールメリットを享受し、持続的かつ非連続
的な売上成長を実現します。



※上記、数値グラフは現時点における供給目標数量のイメージ図です。

SCOPE 3 プラットフォーム事業の 顧客実装

主要顧客と協議中

サステナブル原料である「アグロフォレストリー」によるCO2削減量を、企業のScope3(サプライチェーン排出量)削減に直接活用いただくためのプラットフォーム運用が本格化しています。

環境価値の可視化と透明性の高いデータ提供により、**導入企業のESG目標達成を強力にサポート**し、環境と経済が共存するサステナブル社会の実現を加速させます。



単なる自動販売機ではなく、**24時間稼働の「無人口ボット店舗」**として機能。当期中に累計設置台数50台へと拡大を目指します。2026年7月末現在、駅やショッピングモールなどへ8台の設置が完了しております。



いつでも手軽に

24時間、好きなタイミングで場所を限らずアサイーボウルを購入可能。



BtoB市場の開拓

企業の福利厚生としてのオフィス導入や、アサイーと親和性の高い健康志向のユーザーが好む飲食店での設置を推進。



商業施設への展開

ショッピングモールやジムなど、新たな販売拠点を拡大。

04

成長投資と資金調達の進捗



01 成長投資の進捗

さらなる業績拡大にむけた事業展開

日常的にアサイーを楽しむことを加速させる施策（即食キャンペーンやヨーグルトとのクロスマーケティング）と、国内外におけるSNSを活用した販路での拡大施策を展開中。

サステナブルマッチングプラットフォーム

サプライヤー/バイヤーの招致拡大を目指す。環境価値の可視化と透明性の高いデータ提供により、導入企業のESG目標達成を強力にサポートするためのアップデートを調整中。

02 調達済み金額と資金の充当状況

(単位:百万円)

資金使途	調達予定額	資金調達額	充当額	未充当額
アサイー原材料の調達+アマゾンフルーツの調達	6,689	5,877	2,016	4,184
カカオの調達	400		400	
アサイーの普及活動及びプロモーション	150		22	
アマゾンフルーツのプロモーション、マーケティング活動	150		0	
人材確保（人件費、採用費等）	100		16	
プラットフォームの構築及び維持	250		55	
サステナブルマッチングプラットフォームのPR	100		0	
合計	7,839	5,877	2,510	4,184

(1)今後の具体的な計画やその進捗については、事業計画及び成長可能性に関する事項及び、適時開示にて開示してまいります。



03 各新株予約権行使の進捗状況 (1)

新株予約権	発行数(個)	行使数(個)	未行使数(個)	行使割合(%)
第11回新株予約権	182,400	182,400	0	100.0
第12回新株予約権	182,400	182,400	0	100.0
第13回新株予約権	182,400	0	182,400	—
第14回新株予約権	187,000	182,500	4,500	97.6
第15回新株予約権	187,000	187,000	0	100.0
合計	921,200	734,300	186,900	79.7

第11回新株予約権は、2024年9月に全個数の行使が完了されました。行使完了についての詳細は2024年9月2日公表の「第三者割当による第11回新株予約権(行使価額修正条項付)の月間行使状況及び行使完了に関するお知らせ」をご参照ください。

第12回新株予約権は、2025年10月に全個数の行使が完了されました。行使完了についての詳細は2025年11月5日公表の「第三者割当による第12回新株予約権(行使価額修正条項付)の月間行使状況及び行使完了に関するお知らせ」をご参照ください。

第13回新株予約権は、コミット・イシュー型新株予約権であり、2027年4月20日(当日を含む。)から行使が可能となります。なお、コミット内容は行使期間中の価格算定日の終値の単純平均値の90%に相当する金額に基づき、本新株予約権の割当日の翌取引日(当日を含みます。)から、原則として20ヶ月以内(以下「全部コミット期間」といいます。)に、必ず第13回新株予約権の全てを行使すること(全部コミット)とされています。

第14回新株予約権は、随時行使型新株予約権であり、行使期間を2023年12月18日(当日を含む。)から2030年12月17日(当日を含む。)までとしています。
なお、次の行使価額修正日は2026年6月15日となります。

第15回新株予約権は、本新株予約権は2025年2月に全個数の行使が完了されました。行使完了についての詳細は2025年2月3日公表の「第三者割当による第15回新株予約権(行使価額修正条項付)の月間行使状況及び行使完了に関するお知らせ」をご参照ください。

各新株予約権の詳細につきましては、2023年11月13日公表の「第11回乃至第13回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行、第14回及び第15回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行並びに定款の一部変更に関するお知らせ」、2025年6月13日公表の「資金使途の変更に関するお知らせ」をご参照ください。

05

サステナビリティの取組み



アグロフォレストリー原料の使用を通して、累計450,000トンのCO2削減を目指します。 (1)

フルッタフルッタでは、アグロフォレストリーの多様性栽培に関わることで、これまで経済の通例であったモノカルチャー栽培が如何に自然と逆行する手法であったかを痛感させられてきました。そして、従来の農業が自然資本を搾取する経済活動であったのに対し、アグロフォレストリーは自然資本を保全し回復させる未来型の農法といえます。

従来の資本主義に対し、限りある自然資本を中心に据えたのが「自然資本主義」です。 (2)
その生産性の改善と回復に重点を置いた新しい資本主義といえます。

私たちは、事業活動を通してアグロフォレストリーの発展に貢献していく中で、アグロフォレストリーの概念ともいえる「自然と共に生きる」を広め、この新しい経済メカニズムを日本国内及び世界に提唱し、経済と環境が共存共栄する持続可能な社会を実現することを目指し、上記目標設定と致しました。



(1)目標値は、中長期計画で見通している 2031 年 3 月期までの売上高(取引高)から算出したアグロフォレストリー原料の調達量に基づき、そこから得られる CO₂削減量を創業時から累計して算出しています。

なお、2025年3月末時点では 65,000tを削減している見込みです。

(2)自然資本:植物、動物、土壌、鉱物、水、大気など、自然によって形成される資源のこと

当社のサステナブルに対する活動・情報をまとめたサステナブルページを公開しております。
当社が目指す未来をはじめ、アグロフォレストリーが貢献するSDGsや、企業活動とサステナブルの関係をまとめています。



■おもな内容

- ・実現したい未来
- ・フルッタフルッタのSDGs
- ・アグロフォレストリーで実現するSDGs
- ・私たちのサステナブルアクション
- ・最新情報



本資料におけるご説明に含まれる将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされ、もしくは算定されています。また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いてなされもしくは算定したものです。

将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や国内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

本資料は、情報の提供を目的とするものであり、当社により何らかの行動を勧誘するものではありません。日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。投資のご検討にあたっては、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

【お問合せ先】

株式会社フルッタフルッタ IR室

公式お問い合わせフォーム

https://www.frutafruta.com/ir_info/ircontact/

